

在鸣门 第141期

平成29年度県内在住外国人を対象とした観光モニターツアー

1月20日、徳島県国際課が主催する平成29年度県内在住外国人を対象とした観光モニターツアーに参加しました。34人の外国人がこのツアーに参加し、徳島の有名な神社、寺院の参拝や草木染めなどを体験することが出来ました。

平成29年度徳島県在住外国人観光体験游

1月20日、我参加了由徳島县国际课举办的平成29年度徳島县在住外国人观光体验游。本活动共有34名外国人参加，我们一起参拜了徳島著名的神社、寺庙，还参加了当地的草木染色体验等活动。

★お松大権現神社



阿松大権現神社



お松大権現：江戸時代に、「三毛」という猫が飼い主のために妖怪になり、悪人を倒したという伝説が有名で、約1万の招き猫が奉納されています。勝負事・願い事の神様として知られ、受験シーズンになると、多くの合格祈願の参拝者で賑わいます。実際に入ってみると、「さすりねこ」や「猫不動」、「猫の七福神」などのさまざまな像があり、まるで「猫の王国」にいるような感じでした。

阿松大権現神社：神社因江戸时代一只名为“三毛”的猫替主人复仇化身妖怪惩治恶势力的传说而闻名，供奉着约上万只招财猫。该神社猫神作为祈祷赢得比赛和实现心愿的神明广为人知，每到考试时期，会有很多许愿者前来参拜。进到神社内，会看到诸如“可摸猫”（据说抚摸此猫像后，相应身体部位疾病可好转），“猫不动神”、“猫七福神”等形态各样的猫神像，仿佛置身于“猫的王国”。

★太龍寺



太龍寺：四国八十八ヶ所靈場の二十一番札所です。標高 600M の太龍寺山の山頂にあり、ロープウェイに乗って約 10 分で着きます。壮観な景色を眺めながら、山川を越えた後、弘法大師と巡り合い、感動が一杯でした。

太龍寺：“四国八十八所灵场”的第二十一所寺院，位于海拔 600M 的太龍寺山山顶，乘坐索道约 10 分钟可达。眺望眼前壮美景色，体验跋山涉水之后邂逅弘法大师的无限感动与惊喜。



舎心ヶ嶽：弘法大師が 19 歳の時、100 日間に渡り、この石の上で「虚空藏求聞持法」を修法したといひます。ここには、ブロンズ製の「求聞持修行大師像」があり、大師の氣迫を十分に感じました。（右図）

舎心岳：据说弘法大师 19 岁时曾在此岩石上历时 100 天修行“虚空藏求闻持法”。此处有“求闻持修行大师”青铜像，远远望去，深感大师雄伟气魄。（右图）



★鶴林寺



鶴林寺山門



双鶴青銅像之一

鶴林寺: 四国八十八ヶ所霊場の二十番札所です。鶴で有名で、遥かに太平洋を眺望することができ、山鳥が舞う大自然そのままのお寺です。

弘法大師が修行したとき、雌雄の白鶴が翼を広げ、古い杉の木の上に舞い降り、地藏菩薩の降臨を守っていたそうです。その後、弘法大師が近くにあった霊木を使い、90センチの地藏菩薩を彫刻し、また5センチの黄金の地藏菩薩をその彫刻の胎内に収め、本尊とし、寺名を鶴林寺にしたと言われています。

境内の山容がインド釈迦牟尼世尊が説法した霊鷲山と似ているということで、山号は「霊鷲山」と定められました。

また、境内の三重の塔は、徳島県で唯一の三重の塔であり、徳島県の有形文化財に指定されています。

鶴林寺: “四国八十八所灵场”の第二十所寺院，因“鹤”驰名，是一所可眺望太平洋、野生鸟类栖息的原生态自然寺院。

据说，弘法大师在此处修行之时，看到雌雄两只白鹤轮流展开翅膀，飞舞于古杉树梢之上，从而保护降临于此的黄金地藏菩萨。见此情景之后，弘法大师利用附近的灵木雕刻出约90厘米的地藏菩萨像，再将约5厘米的黄金地藏菩萨置于灵木雕像之中，奉之为寺院本尊，取寺名为“鹤林寺”。

寺院内的寺容和印度释迦牟尼佛陀宣讲佛法之地“灵鷲山”酷似，因此，此山山号被定为“灵鷲山”。

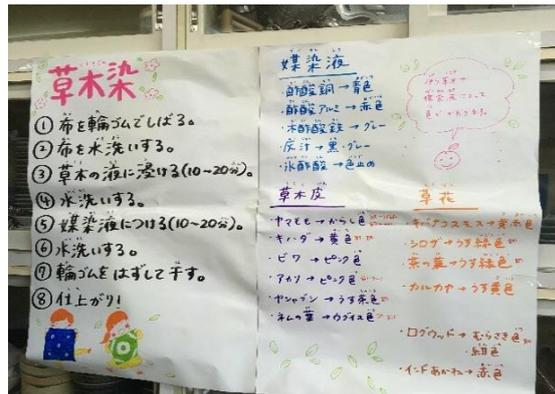
另外，寺院内的“三重塔”，是徳岛县唯一的三重塔，为徳岛县的指定有形文化财产。

★勝浦町 (貯蔵蜜柑試食+草木染め)



貯蔵蜜柑： 勝浦町の蜜柑は 11 月～12 月ぐら
いに収穫し、その後、特別に作られた倉庫
で約 2 ヶ月間保存します。出荷時期はおよそ
2 月～3 月の間であり、ちょうど他の産地の
蜜柑が終わった頃なので、重宝されていま
す。

貯蔵蜜橘： 勝浦町の蜜橘在 11 月-12 月采
摘，之后，被放置于特制仓库中保存约 2 个
月。出售期为 2 月-3 月之间，正好是其他产
地蜜橘销售结束之时，因此备受欢迎，甚为
畅销。



草木染め体験： 草木染めとは山から採った草木を原材料とする染色方法です。完成品の色は、使った草木と媒染液によって変わります。完成品の模様は輪ゴムの縛り方によって変わります。スタッフの説明を聞いた後、染色作業を始めました。たくさんの参加者は微調整しながら、自分なりの染色方法にチャレンジしました。完成するまでには、どんな色と模様になるかが予想できず、完成するのが楽しみでした。変化した色に驚きながら、自然の草木染めに感心しました。

草木染色体験： 草木染色是指以采自山中的草木为染色原料进行染色的方法。成品的颜色根据所用草木原料和“媒染液”的不同搭配而变化；成品的花纹因布块捆扎方式不同而各异。大家在听完工作人员的解释后，开始染色体验。很多参与者在原有方式基础上，稍作调整，挑战了个性的染液搭配方法。在作品完成之前，无法预料颜色以及花纹的变化，这是我们在体验过程中最大的期待和乐趣。我们惊喜于颜色变化的同时，不禁感叹源自大自然的草木染色法的神奇魅力。



染色中



完成品

今回のモニターツアーを通して、徳島の寺、神社をより深く理解することができました。現地の皆さんとのふれあいで、現地の産業や文化への理解を深めました。徳島県の魅力は一杯あり、これからも発見の旅を続けていきたいと思えます。

本次在住外国人观光体验游，我对德岛县的寺庙、神社有了更深的了解，在与当地民众交流过程中，加深了对当地产业及文化的了解。德岛县魅力无处不在，我将继续这魅力发现之旅！

部门：鸣门市观光振兴课

地址：鳴門市撫養町南浜字東浜 170

(〒772-8501)

TEL：088-684-1746/FAX：088-684-1339

E-mail：kokusai@city.naruto.i-tokushima.jp

编辑：翟羽佳